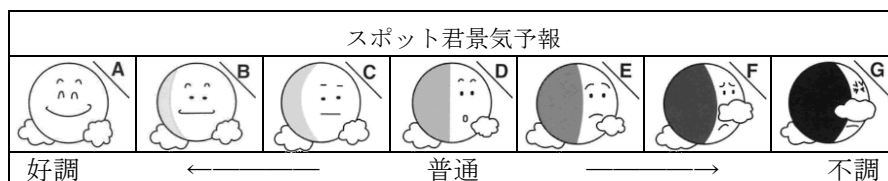


2. 目黒区内中小企業の景況（令和5年7～9月期）

（1）今期の特徴点



製造業



業況は△11.8で前期比3.9ポイント減とやや低調感が強まった。売上額は△5.9で11.4ポイント減と増加から減少に転じ、収益は△16.0で11.0ポイント減と大きく減益幅が拡大し、資金繰りは△12.6で0.8ポイント増と前期並の苦しさとなった。来期の見通しについては、業況2.2ポイント減の△14.0と低調感がやや強まる見込み。

卸売業



業況は△23.1で前期比3.3ポイント減と多少低調感が強まった。売上額は△2.9で9.7ポイント減と増加から減少に転じ、収益は△21.5で11.3ポイント減とかなり減益幅が拡大し、資金繰りは△15.9で0.9ポイント増と前期同様の厳しさが続いた。来期の見通しについては、業況は5.0ポイント増の△18.1と厳しさが幾分和らぐ見込み。

小売業



業況は2.5で前期比2.0ポイント増と若干好調感が強まった。売上額は△1.9で7.2ポイント減と増加から減少に転じ、収益は△11.4で1.8ポイント減とやや減益幅が拡大し、資金繰りは3.6で3.9ポイント増と容易となった。来期の見通しについては、業況は3.9ポイント減の△1.4と悪化に転じる見込み。

サービス業



業況は△11.5で前期比6.1ポイント増と大幅に厳しさが和らいだ。売上額は4.2で3.7ポイント増とわずかに増加幅が拡大し、収益は△5.0で4.1ポイント増と多少改善し、資金繰りは2.9で15.6ポイント増と容易となった。来期の見通しについては、業況は1.0ポイント増の△10.5と今期同様の厳しさが続く見込み。

建設業



業況は△2.4で前期比17.7ポイント減と悪化に転じた。売上額は△10.8で22.1ポイント減と増加から減少に転じ、収益は△30.9で29.8ポイント減と極端に減益幅が拡大し、資金繰りは1.5で4.9ポイント減と幾分容易さが縮小した。来期の見通しについては、業況は2.6ポイント減の△5.0と低調感が若干強まる見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

